

北陸の元気を支える建設業の未来創造アクションプラン「北陸けんせつミライ2025」

Ver.01

インフラ整備のビジョン

北陸の元気なくして日本の元気なし!

■ 北陸地域のポテンシャル

① 三大都市圏に隣接する地理的優位性

▶ 日本列島のほぼ中央に位置し、三大都市圏・東北圏から概ね300km圏域

② キラリと光る「モノ」づくり

▶ 付加価値の高いモノづくり産業（北陸各県の1人当たりの製造品出荷額は日本海側トップクラス）

③ 世界に誇る観光地

▶ 自然や歴史・文化を活かした多くの観光資源

地域の作り手として



[日本海沿岸東北自動車道]



[能越自動車道]



[金沢港 クルーズターミナル]



[国道289号 八十里越]



[黒部立山アルペンルート]

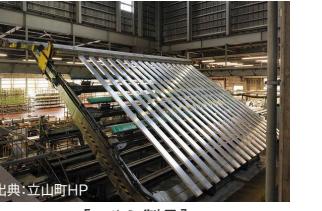


[建設重機]



[兼六園]

更なる進化・発展



[アルミ製品]



[佐渡島の金山] (令和6年7月 世界文化遺産登録)



[金属製品(カトラリー等)]

■ 地域基盤のリスク

① 頻発する地震



[令和6年能登半島地震]

② 激甚化する豪雨



[令和6年9月の豪雨]

③ 短期集中的な降雪



[令和4年12月の大雪]



地域の守り手として



[大河津分水路]



[利賀ダム]



[災害対応]



[白岩砂防堰堤]

北陸の建設業の未来創造に向けた

3本柱

~ 3Kから『新4K』へ ~ 魅力ある建設業に向けて

直轄から公共セクター(県・市町村) ~・民間へ

柱 その1

適正利潤の確保

物価高騰等に対応した適正な積算・発注

・賃金水準や物価水準の変動に対応したスライド制度や見積活用型積算による適正な予定価格の設定



見積活用型積算方式

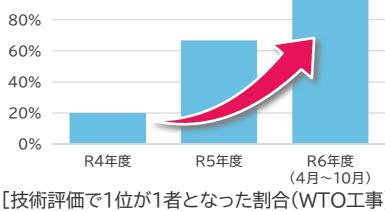
歩掛や材料費について標準積算と実勢価格との乖離への対応

地域外からの労働者確保

労働者確保に要する方策を変更せざるを得ない場合への対応

・総合評価落札方式において、有意な差がつく技術提案テーマの設定や評価により、優れた技術が評価される入札・契約方式の実現

R7新規



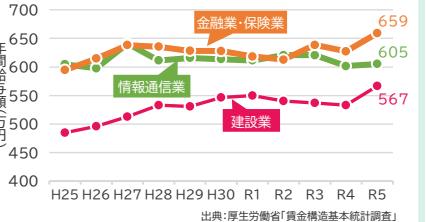
[技術評価で1位が1者となった割合(WTO工事)]

柱 その2

変わるべき待遇・働き方

建設業の給与改善

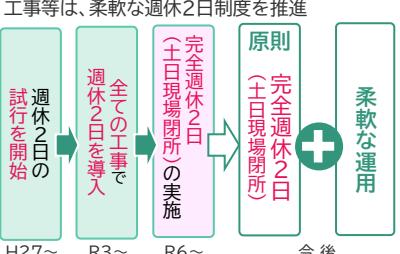
・他産業と開差のある建設業の給与水準を、継続的な労務単価の引上げ等により、労働環境に相応しい賃上げを推進



[出典:厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
[北陸3県(全職種単純平均)] R6年3月:労務単価 30,515円
対前年度比 7.7%増(12年連続の上昇)]

現場条件・多様な働き方に対応する柔軟な週休2日制度の導入

・原則全ての工事で完全週休2日を実施
・施工日が波浪等の厳しい気象条件に左右される工事等は、柔軟な週休2日制度を推進



週休2日適正工期発注者宣言制度の浸透

・週休2日の確保など適正な工期設定にむけ、受発注者相互で一的な取組の推進

2025 発注機関 100% 宣言

change!!
週休2日
適正工期発注宣言
北陸プロック発注者協議会

を目指します

[技術評価で1位が1者となった割合(WTO工事)]

柱 その3

未来につながる建設現場

BIM/CIM原則化と人材育成

・3Dモデルの活用等の拡大を推進



[3Dモデルを活用した工事概要の説明]

・ICT施工研修に関する取組を拡大して、建設工事等の技術者のDXを推進

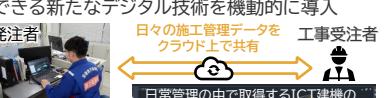
・西部ブロックにおいても出張DXルームを開催



[北陸インフラDX人材育成センターでの研修]

施工管理、監督等でデジタル新技術を積極活用

・現行の基準類と異なる手法でも、効率化が期待できる新たなデジタル技術を機動的に導入



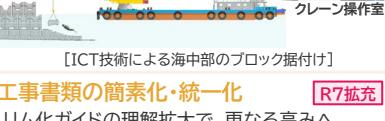
[日々の施工管理データをクラウド上で共有

・日々の施工管理データをクラウド上で共有

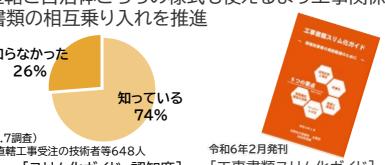


[大河津DX(デジタル技術を出来高確認に活用)]

・プロック据付位置と作業台船の位置をGPSによる座標で管理して「見える化」し、潜水面による海中作業を軽減



[GNSSアンテナ
GNSSコマックス
情報受信システム
クレーン操作室
位置]



(R6.7調査)
n=直轄工事受注の技術者等648人
[スリム化ガイド認知度]
[スリム化ガイド 認知度]
[工事書類スリム化ガイド]